

# バリデーション研究の計画・報告・活用

## 大規模医療データベースを活用する研究基盤

### 「バリデーション研究」の入門

奥村泰之(東京都医学総合研究所)

### 「バリデーション研究」の報告事例

二宮英樹(慶應義塾大学)

### 「バリデーション研究」の書き方

清水沙友里(医療経済研究機構)

### 「バリデーション研究」の活用法

竹内由則(東京大学大学院)

会場：東京医科歯科大学湯島キャンパス(御茶ノ水駅より徒歩1分)  
1号館西7階 口腔保健学科第3講義室

日時：2019年9月7日(土) 13:00～18:00

会費：一般2000円／学生1000円

懇親会にもぜひ、気軽にお越しください

参加登録URL：<https://kokucheese.com/event/index/573691/>

先着順事前登録制 (〆切:9月6日)

# 臨床疫学研究における報告の質向上のための統計学の研究会

## 第 35 回研究集会

目的	<p>本研究会は、研究報告の質 (reporting quality) 向上のための統計学の勉強会です。</p> <p>臨床疫学系の多くの研究者は、統計学の専門家ではありません。我々は、論文を書くための「道具」として、統計学を使っています。我々が論文を書く際は、より良い研究になるように、「適切」に方法や結果を記述したいと願っています。国際的には、統計手法別に、どのような情報を論文で記述すべきかを規定しているガイドライン (reporting guideline) が数多く公表されています。しかし、我々は、残念ながら、こういったガイドラインの学習にまで、なかなか手を伸ばせないために、「ある統計手法を使ったものの、どのように論文に報告すれば良いかわからない」といった問題によく遭遇していると思います。</p> <p>こうした問題を解決すべく、本研究会では、「データ解析環境 R を共通言語として、より良い研究をするために、研究報告の質を向上させるよう一緒に勉強する場を提供すること」を主眼としています。このような場を利用して、臨床疫学系研究者が統計学の勉強を継続する「熱意」を保ち、より良い研究を国際的に発信していくことを願っています。</p>
会場	<p>東京医科歯科大学湯島キャンパス 1 号館西 7 階 口腔保健学科第 3 講義室 (最寄り駅: JR「御茶ノ水駅」, 丸ノ内線「御茶ノ水駅」, 千代田線「新御茶ノ水駅」)</p>
開催日時	<p>2019 年 9 月 7 日 (土)</p> <p>研究会 (一般 2000 円/学生 1000 円): 13:00~18:00</p> <p>懇親会 (4000 円程): 18:15~20:15</p>
定員	<p>70 名 (開催最低人数: 6 名)</p> <p>注) 1 研究室あるいは 1 企業からの参加人数を制限させて頂くことがございます。</p>
参加資格	<p>1. 臨床疫学系の研究者 (大学院生以上)</p> <p>2. 発表者になることを厭わないこと</p> <p>3. データ解析環境 R を使用したデータハンドリングの基礎がわかること (目安として「舟尾暢男・高浪洋平 (2005) データ解析環境 R. 工学社」の第 2 章から第 5 章の内容を理解していること)</p>
参加方法	<p>1. 今回の研究会に参加希望の方は、告知'S (<a href="https://kokucheese.com/event/index/573691/">https://kokucheese.com/event/index/573691/</a>) にて参加登録下さい。登録方法は、画面中央の「お申し込みはこちら」ボタンをクリックすると登録画面に進みます。手続きが完了すると「お申し込み完了」メールがすぐに送付されます。</p> <p>2. ML 加入者が優先参加できます (<a href="https://groups.google.com/forum/?hl=ja#!forum/require_epi">https://groups.google.com/forum/?hl=ja#!forum/require_epi</a>)。</p>
注意	<p>発表資料は前日にデータで送付します。各自印刷してお持ち下さい。</p>
主催者	<p>奥村泰之 (東京都医学総合研究所)</p> <p>市倉加奈子 (北里大学)</p>
協力者	<p>松岡志帆 (東京医科歯科大学大学院)</p>
謝辞	<p>本研究会は、参加費と寄附金により運営されています (<a href="https://japangiving.jp/supporter/project_owner.html?owner_id=20000917">https://japangiving.jp/supporter/project_owner.html?owner_id=20000917</a>)。健全かつ継続的な運営体制の構築のため、御支援の程よろしく申し上げます。</p>

**バリデーション研究の計画・報告・活用:**  
**大規模医療データベースを活用する研究基盤**

12:30	開場
13:00	開会の挨拶 (5分)
13:05	次回の研究会の案内 (5分)
13:10	はじめに 奥村泰之 (東京都医学総合研究所)
13:15	バリデーション研究の入門 (発表 55分; 質疑 15分) 奥村泰之 (東京都医学総合研究所) 休憩 (10分)
14:35	バリデーション研究の報告事例 (発表 45分; 質疑 15分) 二宮英樹 (慶應義塾大学 医療政策・管理学教室) 休憩 (10分)
15:45	バリデーション研究の書き方 (発表 45分; 質疑 15分) 清水沙友里 (医療経済研究機構) 休憩 (10分)
16:55	バリデーション研究の活用法 (発表 45分; 質疑 15分) 竹内 由則 (東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 疫学・予防保健学分野)
17:55	次回の研究会の調整 (5分)
18:00	閉会
18:15	懇親会 (20:15 終了)

注) 研究会の主旨に従い、発表者に講師料等は一切お支払していません。